

「下水道における防災・機能保持に向けた基盤強化」の成果概要

(社会資本総合整備計画)

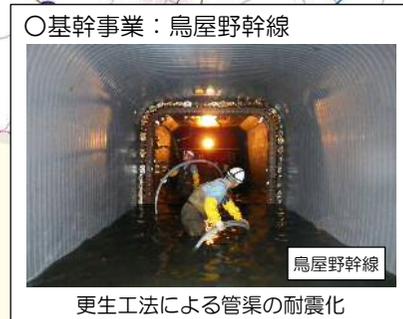
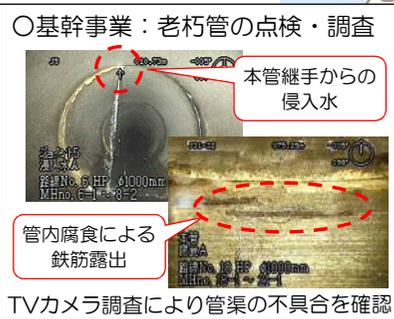
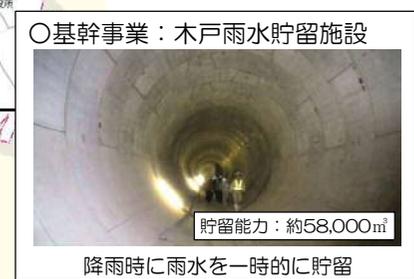
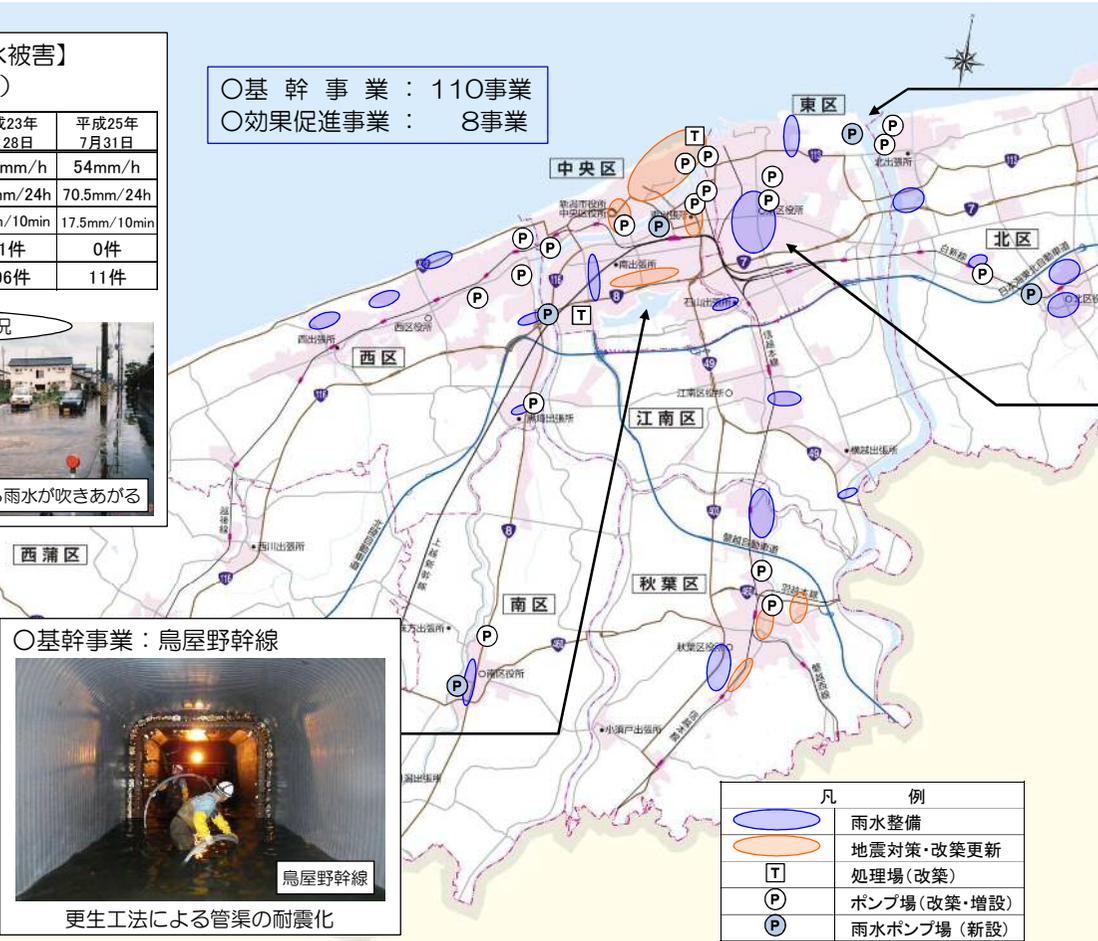
計画の概要	計画の成果目標 (定量的指標)					
	成果目標	定量的指標	現況値	中間値	目標値	実績値
◎計画の期間：平成22年度～平成26年度(5年間) ◎計画の目標： 市街地の浸水対策や重要な管渠の地震対策を進めるとともに、下水道施設の計画的な改築更新を行い、安全・安心な暮らしを実現する。 ◎総事業費：約314億円	都市浸水対策達成率を53.2%(H22当初)から63.0%(H26末)に増加	都市浸水対策達成率 (%)	53.2 %	-	63.0 %	61.5 %
	重要な管渠の地震対策をL=2.2km(H26末)実施	重要な管渠の地震対策延長 (km)	0 km	-	2.2 km	2.2 km

【新潟市における近年の主な浸水被害】  
(時間最大降雨50mm以上)

発生日	平成10年 8月4日	平成14年 8月14日	平成19年 8月28日	平成23年 7月28日	平成25年 7月31日
時間最大	97mm/h	53mm/h	75mm/h	88.5mm/h	54mm/h
24時間最大	265mm/24h	70mm/24h	83mm/24h	176mm/24h	70.5mm/24h
10分間最大	19mm/10min	19mm/10min	21mm/10min	22mm/10min	17.5mm/10min
床上浸水	1,495件	3件	14件	51件	0件
床下浸水	8,290件	17件	72件	306件	11件

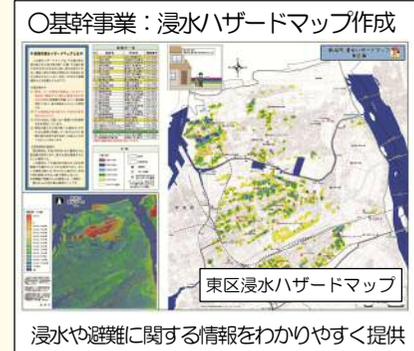


○基幹事業：110事業  
○効果促進事業：8事業



凡 例

○ (Blue)	雨水整備
○ (Orange)	地震対策・改築更新
T	処理場(改築)
P	ポンプ場(改築・増設)
P	雨水ポンプ場(新設)



今後の方針等

- ・床上浸水被害の発生状況や現況の整備水準など、地区の状況を踏まえた優先順位による施設整備を進めるとともに、関係機関との連携や自助・共助の強化などを行い、総合的な浸水対策により浸水被害の軽減を図る。
- ・防災上の優先度が高い管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を進めるとともに、東日本大震災による津波被害を踏まえ、下水道施設の津波対策を推進する。
- ・市民に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、老朽化した下水道施設について、ライフサイクルコストを考慮した計画的な改築更新を推進する。
- ・平成35年度までに合流式下水道改善の対策を完了するため、雨水貯留施設の整備などを推進し、汚濁負荷量及び未処理下水放流回数削減を図る。